

(別表) 授業科目の種類及び履修方法

学部共通基盤専門科目 (昼間主コース)

専門基盤力科目

科目番号	授 業 科 目	提供先 プログラム	単位数	週時間	受講 年次	学 期	授 業 内 容
学共100	基礎演習		2	(2-0)	1	前	初年次教育をベースに、大学での学び方、レポートや論文の書き方、情報の検索と活用法、キャリア教育の最初の一步、等について学ぶ。
学共101	観光地域デザイン入門	観光	2	(2-0)	1	前	観光学の基礎概念や基礎理論等について学ぶ。
学共102	経営学入門	経営	2	(2-0)	1	前	経営学の基本的なフレームワークについて理論的・実践的に学習する。
学共103	簿記入門	経営	4	(4-0)	1	前	企業が公表する財務諸表の作成技術である複式簿記の基礎を学ぶ。
学共104	社会科学のためのゲーム論入門	経済	2	(2-0)	1	前	ゲーム理論の基礎的内容についての講義する。
学共105	経済学概論	経済	2	(2-0)	1	前	市場機構の働きや一国の経済活動についての基礎的な内容について、ケース・スタディなどを通して、講義する。
学共106	言語科学入門	国言	2	(2-0)	1	前	言語に対する様々な研究方法を学び、言語を科学的に分析することの基礎を学ぶ。
学共107	地理総合	地域	2	(2-0)	1	前	地理学に関する基礎知識を概観する。
学共108	社会科学のための統計入門	経済	2	(2-0)	1	前	社会科学研究を行う上で習得すべき基礎的なデータ処理と統計学の基礎を講義する。
学共111	観光とサステナビリティ	観光	2	(2-0)	1	後	持続可能な観光を成立させるための要件について多面的な持続可能性の観点から学ぶ。
学共112	マーケティング入門	経営	2	(2-0)	1	後	企業が自社の業績を上げるために展開する活動について、事例を交えてわかりやすく解説する。
学共113	英米文学概論	国言	2	(2-0)	1	後	イギリス・アメリカ文学の基礎知識を作品を通じて通覧し、英米文化に対する理解を深める。
学共114	ヨーロッパ文化論	国言	2	(2-0)	1	後	古代文明から始まり、キリスト教の発展、産業革命を経て現代に至るまで、ヨーロッパ文化の形成と展開の諸相に迫る。
学共115	歴史総合	地域	2	(2-0)	1	後	歴史学に関する基礎知識を概観する。
学共116	人類文化入門	地域	2	(2-0)	1	後	人類文化に関する基礎知識を概観する。
学共121	テーマ型ツーリズム入門	観光	2	(2-0)	2	前	テーマ性が強く、地域の特性を活かした体験型・交流型の要素を取り入れた新しい形態の旅行について学ぶ
学共122	日本経済入門	経済	2	(2-0)	2	前	現代の日本が直面している様々な経済問題について、初歩的な経済理論を用いて解説する。
学共123	英米文化入門	国言	2	(2-0)	2	前	イギリス・アメリカ文化の諸相について、様々な学問的アプローチをとおして理解を深める。
学共124	自然地理学概論	地域	2	(2-0)	2	前	地球表面の自然地理学的事象について概観する。
学共125	サービス経営入門	経営	2	(2-0)	2	前又は後	サービス経営に関する基礎的な知識を、理論とケースから学ぶ。
学共126	会計ファイナンス入門	経営	2	(2-0)	2	後	前半は企業が公表する会計数値の持つ意味を、後半は企業の資金調達の方法等の基礎を学ぶ。

学部共通基盤専門科目（昼間主コース）

地域・国際基盤力科目（プログラム系科目）

科目番号	授業科目	提供先 プログラム	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容
学共201	沖縄観光政策入門	観光	2	(2-0)	1～2	前又は後	観光立県・沖縄の観光基本計画、誘客事業、受け入れ体制整備事業など幅広い分野にまたがる観光振興施策について学ぶ。
学共202	沖縄観光ビジネス入門	観光	2	(2-0)	1～2	前又は後	多様な企業が関わる沖縄の観光ビジネスの現状と課題について学ぶ。
学共203	沖縄観光と健康入門	観光	2	(2-0)	1～2	前又は後	健康資源と観光の融合を図るヘルスツーリズムの観点から沖縄の現状と課題について学ぶ。
学共204	沖縄観光資源マネジメント入門	観光	2	(2-0)	1～2	前又は後	沖縄の多様な自然環境や独特な歴史・文化を観光資源として活用する際の持続可能なマネジメントのあり方を学ぶ。
学共205	地域経済入門	経済	2	(2-0)	1～2	前又は後	島嶼における持続的・自律的な社会と経済について様々な視点から考察する。
学共206	国際経済入門	経済	2	(2-0)	1～2	前又は後	国際貿易、国際直接投資、国際金融の基礎知識について講義する。
学共207	経済史入門	経済	2	(2-0)	1～2	前又は後	近代から現代における経済成長の過程及び諸産業の発展過程を講義する。
学共208	社会政策入門	経済	2	(2-0)	1～2	前又は後	社会の問題を検討し、解決する主体や方法を、地域再生、文化政策、貧困問題など今日的テーマで考えていく。
学共209	異文化理解	国言	2	(2-0)	1～2	前又は後	多様な文化背景を持つ英文の講義や、英語によるコミュニケーション活動を通じて異文化についての理解を深める。
学共210	地誌学概論	地域	2	(2-0)	1～2	前又は後	日本及び外国の地誌について概観する。
学共211	日本史概論	地域	2	(2-0)	1～2	前又は後	日本の古代から近現代までの歴史について概観する。
学共212	世界史概論(東洋史)	地域	2	(2-0)	1～2	前又は後	東洋の古代から近現代までの歴史について概観する。
学共213	世界史概論(西洋史)	地域	2	(2-0)	1～2	前又は後	西洋の古代から近現代までの歴史について概観する。
学共214	社会人類学 I	地域	2	(2-0)	1～2	前又は後	社会人類学の体系的な概要について学ぶ。
学共215	考古学 I	地域	2	(2-0)	1～2	前又は後	考古学の体系的な概要について学ぶ。
学共216	民俗学 I	地域	2	(2-0)	1～2	前又は後	民俗学の体系的な概要について学ぶ。
学共217	まちづくり地域興し論	地域	2	(2-0)	2	前又は後	様々な切り口から、まちづくり・地域興しの事例を概観しその手法を身につけ、地域資源を生かした提言ができるようにする。
学共218	マーケティング実践研究	経営	2	(2-0)	2	前又は後	マーケティングの事例研究をしながら、受講者に実践的に提案および試作品の制作を行う。

学部共通基盤専門科目（昼間主コース）

地域・国際基盤力科目（プログラム複合科目）

科目番号	授業科目	主担当プログラム	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容
学共250	島嶼観光入門	観光	2	(2-0)	1～2	前又は後	島嶼の資源を持続的に活かした観光のあり方について、島嶼の概念や分類、島嶼経済の視点を含め多面的に学ぶ。
学共251	Introduction to Global Business	経営	2	(2-0)	1～2	前又は後	グローバルな視点から、企業が直面する国際課題と今後の展望について考察する。
学共252	沖縄産業入門	経営	2	(2-0)	1～2	前又は後	沖縄を基軸とする産業の特徴と問題点を把握し、産業振興に向けた課題について考察する。
学共253	島嶼社会経済入門	経済	2	(2-0)	1～2	前又は後	島嶼における持続的・自律的な社会と経済について様々な視点から考察する。
学共254	沖縄経済入門	経済	2	(2-0)	1～2	前又は後	沖縄の産業構造、雇用、財政、沖縄振興策等について講義する。
学共255	EU研究	国言	2	(2-0)	1～2	前又は後	EU（欧州連合）の始まりと現状、その深化がもたらすヨーロッパ諸国の変化とグローバルな活動などについて概観する。
学共256	メディアの英語	国言	2	(2-0)	1～2	前又は後	各種メディアをとおして生きた英語を学び、総合的英語力の向上を目指す。
学共257	地域文化資源と博物館	地域	2	(2-0)	1～2	前又は後	地域の文化資源と博物館の基礎知識を概観する。
学共258	人の移動とグローバル社会	地域	2	(2-0)	1～2	前又は後	人の移動とグローバル社会について事例を取り上げて概観する。

プログラム専門科目（昼間主コース）

国際言語文化プログラム専門科目（基礎科目）

英語文化

科目番号	授業科目	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容
英言111	リーディング	2	0-2	2	前	様々な分野の比較的長い英語の論考、エッセイを速読して大意を理解する訓練をする。
英言121	英文法演習	2	2-2	2	前	英文法と英作文を相互補完的に学習する。
英言171	言語コミュニケーション概論Ⅰ	2	2-0	2	前	英語学／言語学の基礎を中心に学ぶ。
英言221	ライティング	2	0-2	2	前又は後	グローバル及びローカルな問題を扱ったエッセイの書き方を訓練する。
英言231	オーラルコミュニケーション	2	0-2	2	前又は後	日常的な場面において、英語によるコミュニケーション活動が適切に行えるよう訓練する。
英言241	イギリス文学概論	2	2-0	2	後	イギリスの代表的作家の主要作品の鑑賞を通してイギリス文学を歴史的に概観する。
英言242	アメリカ文学概論	2	2-0	2	後	アメリカの代表的作家の主要作品の鑑賞を通してアメリカ文学を歴史的に概観する。
英言271	言語コミュニケーション概論Ⅱ	2	2-0	2	後	英語を中心とした言語習得に関わる様々な理論を概観しながら、母語習得や第二言語習得（外国語教育）についての基礎的知識を学ぶ。
英言272	言語コミュニケーション概論Ⅲ	2	2-0	2	後	英語を中心とした（異文化）コミュニケーション学／社会言語学の基礎を中心に学ぶ。

プログラム専門科目（昼間主コース）

国際言語文化プログラム専門科目（応用科目）

英語文化

科目番号	授業科目	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容
国言101	学外実地研修	2	0-2	2~4	前又は後	合宿研修等を通して、外国語のコミュニケーション能力を身につける。
国言102	異文化実地研修A	2	0-2	1~4	前又は後	英語圏諸国の大学等において行われるサマースクールや短期セミナー等に参加し、その国の言語・歴史・文化等に関する科目を履修するとともに、異文化理解を深める。
国言103	異文化実地研修B	2	0-2	1~4	前又は後	海外協定校での集中講義やセミナーへの参加、エクスカーションや各国の学生との交流を通して、コミュニケーション能力の向上と異文化理解の深化を図る。
英言115	英語資格試験演習	2	0-2	3	後	客観的な英語能力の指標となるTOEFLおよびTOEICの試験内容について、学習方略を含めた問題演習を行う。
英言311	アカデミック・プレゼンテーション	2	0-2	3~4	前又は後	様々な学問分野において、英語による効果的なプレゼンテーションの方法を学ぶ。
英言321	英語スピーチ	2	0-2	3~4	前又は後	パブリック・スピーキングの理論を学び、英語のスピーチを実践することによって、論理的に話す能力と建設的な批判能力を養う。
英言322	英語ディベート	2	0-2	3~4	前又は後	賛否両論ある特定の社会問題について英語で討論し、意志決定能力や論理的思考能力を増進する。
英言333	英米言語文化特殊講義Ⅰ	2	2-0	3~4	前又は後	英文法を普遍文法の観点から考察し人間言語の仕組みについて理解を深める。
英言334	英米言語文化特殊講義Ⅱ	2	2-0	3~4	前又は後	英語の母語習得理論及び外国語習得理論の理解を基に、日本人学習者が英語を学習するときに抱える困難と、その解決方法について学ぶ。
英言335	英米言語文化特殊講義Ⅲ	2	2-0	3~4	前又は後	英米の言語、文化、歴史を主とした文化総体の様々な側面に関する主題に関するプレゼンテーションとディスカッションを実施し、仕上げとして取り上げられた主題についてのterm paperを作成する。
英言336	英米言語文化特殊講義Ⅳ	2	2-0	3~4	前又は後	19世紀前半までのアメリカ合衆国草創期の文学作品を読むことをとおして、その後形成されていくアメリカの価値観の展開を学ぶ。
英言342	ルネサンス文学	2	2-0	3~4	前又は後	シェイクスピアを中心とする代表的作家の主要作品を取り上げ、その研究方法を学ぶ。
英言343	17・18世紀イギリス文学	2	2-0	3~4	前又は後	王政復古期及び18世紀の代表的作家の主要作品を取り上げ、その研究方法を学ぶ。
英言344	ロマン派文学	2	2-0	3~4	前又は後	イギリスロマン派文学の主要作品を取り上げ、その研究方法を学ぶ。
英言345	ヴィクトリア朝文学	2	2-0	3~4	前又は後	ヴィクトリア朝文学の主要作品を取り上げ、その研究方法を学ぶ。
英言346	現代イギリス文学	2	2-0	3~4	前又は後	20世紀以降のイギリス文学における主要作品を取り上げ、その研究方法を学ぶ。
英言347	イギリス文学研究Ⅰ	2	2-0	3~4	前又は後	イギリス文学における重要なテーマについて研究する。
英言348	イギリス文学研究Ⅱ	2	2-0	3~4	前又は後	イギリス文学における多様なテーマについて研究する。
英言350	アメリカ文学研究Ⅰ	2	2-0	2~4	前又は後	アメリカ文学の様々な作家や作品、及びジャンルについて学び、アメリカ文学を鑑賞するための基礎的な技術と知識を習得する。
英言351	アメリカ文学研究Ⅱ	2	2-0	2~4	前又は後	アメリカ文学の様々な作家や作品、及びジャンルを対象としながら、アメリカ文学を分析・解釈するための基礎的な方法について学ぶ。

英言352	アメリカ文学研究III	2	2-0	3~4	前又は後	アメリカ文学の様々な作家、作品、及びジャンルを対象として、それを批評するための理論についてより専門的なアプローチについて学ぶ。
英言353	アメリカ文学研究IV	2	2-0	3~4	前又は後	アメリカ文学の様々な作家、作品、及びジャンルについて自律した分析や解釈ができるように、さらに理解を深める。
英言354	アメリカ文学研究V	2	2-0	3~4	前又は後	アメリカ文学の様々な作家、作品、及びジャンルについて、先行研究をふまえたより専門的な議論の構築の方法や学術論文の書き方について学ぶ。
英言355	アメリカ文学研究VI	2	2-0	2~4	前又は後	アメリカ文学の様々な作家、作品、及びジャンルについて、自律した見解と先行研究にもとづく議論と執筆ルールをふまえ、専門性を備えた学術論文執筆の実践を行う。
英言358	アメリカ研究概説	2	2-0	2~4	前又は後	人種、エスニシティ、ジェンダー、階級など、アメリカの文化や社会のありようを特徴づけるテーマを通して、アメリカ研究の基礎的な知識を学ぶ。
英言359	アメリカ研究演習	2	2-0	3~4	前又は後	アメリカ研究に関するさまざまなテキストや理論の精読など、ゼミ形式の実践的な学習を通してアメリカ研究の基礎的な研究方法を学ぶ。
英言375	英語の意味解釈	2	2-0	2~4	前又は後	英語の意味について理論的・体系的に研究する。
英言377	英語の音声構造	2	2-0	3~4	前又は後	英語の音声と音韻構造を理論的・体系的に研究する。
英言379	英語の文構造	2	2-0	2~4	前又は後	英語の文や句の構造を理論的・体系的に研究する。
英言383	英語の異文化間コミュニケーション	2	2-0	2~4	前又は後	異文化が接触したときの言語現象や非言語行動、および文化摩擦現象をコミュニケーションの基礎理論を通して学ぶ。
英言384	コミュニケーションと文化	2	2-0	2~4	前又は後	英語を中心に、日常的なコミュニケーション事象を分析し、ことばと人、社会、文化との関連性について学ぶ。
英言385	談話とコミュニケーション	2	0-2	2~4	前又は後	英語などの自然会話の連鎖組織や書きことばの構造を考察し、コミュニケーション行為の仕組みと社会性を探求する。
英言395	英語学習論I	2	2-0	2~4	前又は後	外国語としての英語学習を心理学的手法を用いて概観し、その研究方法と理論を学ぶ。
英言396	英語学習論II	2	2-0	2~4	前又は後	外国語としての英語学習を社会文化理論を用いて精査し、その研究について学ぶ。
英言473	英語圏の言語政策と言語権	2	2-0	3~4	前又は後	英語が公用語または実質的な公用語として機能している国・地域における多言語社会の姿を学び、少数言語話者の言語権を保障した言語政策・言語計画を考察する。
英言474	日英語比較研究	2	2-0	3~4	前又は後	日本語と英語を比較研究し、それぞれの特徴及び共通性を研究する。
英言493	特定言語研究	2	2-0	3~4	前又は後	英語を含めた特定の言語の特定分野について、フィールドワークなどを通して研究する。
英言500	卒業研究	2	0-2	4	前又は後	4年間の学習の集大成として研究論文執筆や発表をおこなう。

プログラム専門科目（昼間主コース）

国際言語プログラム専門科目（地域・国際実践力科目）

英語文化

科目番号	授業科目	単位	週時間	年次	学期	授業内容
英言386	英語コミュニケーションの多様性	2	2-0	2~4	前又は後	国際語としての英語について、音声・文法・語彙などの多様性を概観し、「世界諸英語(World Englishes)」の状況やその文化的背景について学ぶ。
国言501	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	0-2	3	前	各分野別に個別研究、討議、発表、論文の作成を行う。
国言502	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	0-2	3	後	各分野別に個別研究、討議、発表、論文の作成を行う。
国言503	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	0-2	4	前	各分野別に個別研究、討議、発表、論文の作成を行う。
国言504	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	0-2	4	後	各分野別に個別研究、討議、発表、論文の作成を行う。

プログラム専門科目（昼間主コース）

国際言語プログラム専門科目（基礎科目）

日本文化

科目番号	授業科目	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容
日国111	日本語文章表現Ⅰ	2	2-0	1	前	文章構成、パラグラフ分析、要約文、レポートの書き方や発表資料作成法を学ぶ。
日国112	日本語文章表現Ⅱ	2	2-0	1	後	「日国111」の続き。
日国221	日本語作品講読Ⅰ	2	2-0	2	前	代表的な近現代の文学作品を精読する。
日国222	日本語作品講読Ⅱ	2	2-0	2	後	「日国221」の続き。
日国231	日本文化論Ⅰ	2	2-0	2	前	日本文化や日本社会の諸課題を取り上げ考察する。
日国232	日本文化論Ⅱ	2	2-0	2	後	「日国231」の続き。

プログラム専門科目（昼間主コース）

国際言語プログラム専門科目（応用科目）

日本文化

科目番号	授業科目	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容
日国323	日本語演習Ⅰ	2	0-2	3	前	日本語学一般に関する知識を身につけ、日本語の様々な現象について言語学的に考察する。
日国324	日本語演習Ⅱ	2	0-2	3	後	「日国323」の続き。
日国441	二言語対照研究	2	2-0	4	前	日本語と外国語とを対照的言語学的に分析する。
日国443	国際事情Ⅰ	2	2-0	4	前	外国との関係における日本を現代史的に考察する。
日国444	国際事情Ⅱ	2	2-0	4	後	「日国443」の続き。

プログラム専門科目（昼間主コース）

国際言語プログラム専門科目（地域・国際実践力科目）

日本文化

科目番号	授業科目	単位	週時間	年次	学期	授業内容
国言501	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	0-2	3	前	各分野別に個別研究、討議、発表、論文の作成を行う。
国言502	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	0-2	3	後	各分野別に個別研究、討議、発表、論文の作成を行う。
国言503	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	0-2	4	前	各分野別に個別研究、討議、発表、論文の作成を行う。
国言504	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	0-2	4	後	各分野別に個別研究、討議、発表、論文の作成を行う。

プログラム専門科目（昼間主コース）

国際言語プログラム専門科目（基礎科目）

ヨーロッパ言語文化

科目番号	授業科目	単位	週時間	年次	学期	授業内容
欧言200	ドイツ語オーラル・コミュニケーションⅠ	2	0-2	2～3	前	ドイツ語の発音訓練と口頭による表現力の基礎を養成する。
欧言201	ドイツ語トレーニングⅠ	2	0-2	2～3	前	読み、書き、聴き、話すためのより高度なドイツ語運用能力を養成する。
欧言202	フランス語オーラル・コミュニケーションⅠ	2	0-2	2～3	前	フランス語の発音訓練と口頭による表現力の基礎を養成する。
欧言203	フランス語トレーニングⅠ	2	0-2	2～3	前	読み、書き、聴き、話すためのより高度なフランス語運用能力を養成する。
欧言204	スペイン語オーラル・コミュニケーションⅠ	2	0-2	2～3	前	スペイン語の発音訓練と口頭による表現力の基礎を養成する。
欧言205	スペイン語トレーニングⅠ	2	0-2	2～3	前	読み、書き、聴き、話すためのより高度なスペイン語運用能力を養成する。
欧言206	ドイツ社会研究	2	2-0	2～3	前又は後	ドイツの日常生活や社会・文化の諸問題（環境、平和、外国人、再統一後の問題等）を研究する。
欧言207	ドイツ語オーラル・コミュニケーションⅡ	2	0-2	2～3	後	ドイツ語の発音訓練と口頭による表現力の基礎を養成する。
欧言208	ドイツ語文法Ⅰ	2	2-0	2～3	後	ドイツ語の文法規則について理解を深め、その運用能力を養成する。
欧言209	ドイツ語トレーニングⅡ	2	0-2	2～3	後	読み、書き、聴き、話すためのより高度なドイツ語運用能力を養成する。
欧言210	フランス社会研究	2	2-0	2～3	前又は後	フランスの日常生活や社会・文化の諸問題（環境、平和、移民・難民問題等）を研究する。
欧言211	フランス語オーラル・コミュニケーションⅡ	2	0-2	2～3	後	フランス語の発音訓練と口頭による表現力の基礎を養成する。
欧言212	フランス語文法Ⅰ	2	2-0	2～3	後	フランス語の文法規則について理解を深め、その運用能力を養成する。
欧言213	フランス語トレーニングⅡ	2	0-2	2～3	後	読み、書き、聴き、話すためのより高度なフランス語運用能力を養成する。
欧言214	スペイン社会研究	2	2-0	2～3	前又は後	スペインの日常生活や社会・文化の諸問題（環境、平和、移民・難民問題等）を研究する。
欧言215	スペイン語オーラル・コミュニケーションⅡ	2	0-2	2～3	後	スペイン語の発音訓練と口頭による表現力の基礎を養成する。
欧言216	スペイン語文法Ⅰ	2	2-0	2～3	後	スペイン語の文法規則について理解を深め、その運用能力を養成する。
欧言217	スペイン語トレーニングⅡ	2	0-2	2～3	後	読み、書き、聴き、話すためのより高度なスペイン語運用能力を養成する。

プログラム専門科目（昼間主コース）

国際言語プログラム専門科目（応用科目）

ヨーロッパ言語文化

科目番号	授業科目	単位	週時間	年次	学期	授業内容
国言101	学外実地研修	2	0-2	2～4	前又は後	合宿研修等を通して、外国語のコミュニケーション能力を身につける。
国言102	異文化実地研修A	2	0-2	1～4	前又は後	英語圏諸国の大学等において行われるサマースクールや短期セミナー等に参加し、その国の言語・歴史・文化等に関する科目を履修するとともに、異文化理解を深める。
国言103	異文化実地研修B	2	0-2	1～4	前又は後	ヨーロッパの協定校等での集中講義やゼミへの参加、エクスカーションや各国の学生との交流を通して、コミュニケーション能力の向上と異文化理解の深化を図る。
欧言300	ドイツ語ライティングⅠ	2	0-2	3～4	前又は後	ドイツ語の構造や特徴に留意しながら、基礎的な文章表現力を養う。
欧言301	ドイツ語リーディングⅠ	2	0-2	3～4	前又は後	小説、評論、時事ドイツ語等を取り上げた初級者用教材の精読を通して基礎的な読解力を養成する。
欧言302	ドイツ文化研究Ⅰ	2	2-0	3～4	前又は後	ドイツの時事的なテーマ、歴史、文化、芸術、音楽、映画等について研究する。
欧言303	ドイツ語文法Ⅱ	2	2-0	3～4	前又は後	基礎的なドイツ語運用能力を高め、実践的な文法力を養う。
欧言304	フランス語ライティングⅠ	2	0-2	3～4	前又は後	フランス語の構造や特徴に留意しながら、基礎的な文章表現力を養う。
欧言305	フランス語リーディングⅠ	2	0-2	3～4	前又は後	小説、評論、時事フランス語等を取り上げた初級者用教材の精読を通して基礎的な読解力を養成する。
欧言306	フランス文化研究Ⅰ	2	2-0	3～4	前又は後	フランスの時事的なテーマ、歴史、文化、芸術、音楽、映画等について研究する。

欧言307	フランス語文法Ⅱ	2	2-0	3~4	前又は後	基礎的なフランス語運用能力を高め、実践的な文法力を養う。
欧言308	スペイン語ライティングⅠ	2	0-2	3~4	前又は後	スペイン語の構造や特徴に留意しながら、基礎的な文章表現力を養う。
欧言309	スペイン語リーディングⅠ	2	0-2	3~4	前又は後	小説、評論、時事スペイン語等を取り上げた初級者用教材の精読を通して基礎的な読解力を養成する。
欧言310	スペイン文化研究Ⅰ	2	2-0	3~4	前又は後	スペインの時事的なテーマ、歴史、文化、芸術、音楽、映画等について研究する。
欧言311	スペイン語文法Ⅱ	2	2-0	3~4	前又は後	基礎的なスペイン語運用能力を高め、実践的な文法力を養う。
欧言312	ドイツ語ライティングⅡ	2	0-2	3~4	前又は後	ドイツ語の構造や特徴に留意しながら、基礎的な文章表現力を養う。
欧言313	ドイツ語表現法	2	0-2	3~4	前又は後	視聴覚教材を用いてリスニング能力の向上をはかるとともに、テーマに応じた口頭表現の訓練を行う。
欧言314	ドイツ語文学史	2	2-0	3~4	前又は後	ドイツ文学の主要作品と思潮を通史として概観する。
欧言315	ドイツ語リーディングⅡ	2	0-2	3~4	前又は後	小説、評論、時事ドイツ語等を取り上げた初級者用教材の精読を通して基礎的な読解力を養成する。
欧言316	ドイツ語学研究	2	2-0	3~4	前又は後	ドイツ語を音韻論、形態論、統語論、意味論の側面から考察する。
欧言317	ドイツ文化研究Ⅱ	2	2-0	3~4	前又は後	ドイツの時事的なテーマ、歴史、文化、芸術、音楽、映画等について研究する。
欧言318	フランス語ライティングⅡ	2	0-2	3~4	前又は後	フランス語の構造や特徴に留意しながら、基礎的な文章表現力を養う。
欧言319	フランス語表現法	2	0-2	3~4	前又は後	視聴覚教材を用いてリスニング能力の向上をはかるとともに、テーマに応じた口頭、文章表現の訓練を行う。
欧言320	フランス語文学史	2	2-0	3~4	前又は後	フランス文学の主要作品と思潮を通史として概観する。
欧言321	フランス語リーディングⅡ	2	0-2	3~4	前又は後	小説、評論、時事フランス語等を取り上げた初級者用教材の精読を通して基礎的な読解力を養成する。
欧言322	フランス語学研究	2	2-0	3~4	前又は後	フランス語を音韻論、形態論、統語論、意味論の側面から考察する。
欧言323	フランス文化研究Ⅱ	2	2-0	3~4	前又は後	フランスの時事的なテーマ、歴史、文化、芸術、音楽、映画等について研究する。
欧言324	スペイン語ライティングⅡ	2	0-2	3~4	前又は後	スペイン語の構造や特徴に留意しながら、基礎的な文章表現力を養う。
欧言325	スペイン語表現法	2	0-2	3~4	前又は後	視聴覚教材を用いてリスニング能力の向上をはかるとともに、テーマに応じた口頭、文章表現の訓練を行う。
欧言326	スペイン語文学史	2	2-0	3~4	前又は後	スペイン文学の主要作品と思潮を通史として概観する。
欧言327	スペイン語リーディングⅡ	2	0-2	3~4	前又は後	小説、評論、時事スペイン語等を取り上げた初級者用教材の精読を通して基礎的な読解力を養成する。
欧言328	スペイン語学研究	2	2-0	3~4	前又は後	スペイン語を音韻論、形態論、統語論、意味論の側面から考察する。
欧言329	スペイン文化研究Ⅱ	2	2-0	3~4	前又は後	スペインの時事的なテーマ、歴史、文化、芸術、音楽、映画等について研究する。
欧言400	ドイツ言語文化演習Ⅰ	2	0-2	3~4	前又は後	ドイツの時事的なテーマ、歴史、文化、芸術、音楽、映画等について演習する。
欧言401	ドイツ語アドヴァンストリーディングⅠ	2	0-2	3~4	前又は後	小説、詩、演劇、評論、学術論文、時事ドイツ語等、多種多様な文章の精読を通して正確な読解力を養成する。
欧言402	フランス言語文化演習Ⅰ	2	0-2	3~4	前又は後	フランスの時事的なテーマ、歴史、文化、芸術、音楽、映画等について演習する。
欧言403	フランス語アドヴァンストリーディングⅠ	2	0-2	3~4	前又は後	小説、詩、演劇、評論、学術論文、時事フランス語等、多種多様な文章の精読を通して正確な読解力を養成する。
欧言404	スペイン言語文化演習Ⅰ	2	0-2	3~4	前又は後	スペインの時事的なテーマ、歴史、文化、芸術、音楽、映画等について演習する。
欧言405	スペイン語アドヴァンストリーディングⅠ	2	0-2	3~4	前又は後	小説、詩、演劇、評論、学術論文、時事スペイン語等、多種多様な文章の精読を通して正確な読解力を養成する。
欧言406	ドイツ言語文化演習Ⅱ	2	0-2	3~4	前又は後	ドイツの時事的なテーマ、歴史、文化、芸術、音楽、映画等について演習する。
欧言407	ドイツ語アドヴァンストリーディングⅡ	2	0-2	3~4	前又は後	小説、詩、演劇、評論、学術論文、時事ドイツ語等、多種多様な文章の精読を通して正確な読解力を養成する。
欧言408	フランス言語文化演習Ⅱ	2	0-2	3~4	前又は後	フランスの時事的なテーマ、歴史、文化、芸術、音楽、映画等について演習する。

欧言409	フランス語アドヴァンスドリーディングⅡ	2	0-2	3~4	前又は後	小説、詩、演劇、評論、学術論文、時事フランス語等、多種多様な文章の精読を通して正確な読解力を養成する。
欧言410	スペイン言語文化演習Ⅱ	2	0-2	3~4	前又は後	スペインの時事的なテーマ、歴史、文化、芸術、音楽、映画等について演習する。
欧言411	スペイン語アドヴァンスドリーディングⅡ	2	0-2	3~4	前又は後	小説、詩、演劇、評論、学術論文、時事スペイン語等、多種多様な文章の精読を通して正確な読解力を養成する。
欧言420	卒業研究	2	0-2	4	前又は後	1年間の学習の集大成として研究論文執筆や発表をおこなう。

プログラム専門科目（昼間主コース）

国際言語プログラム専門科目（地域・国際実践力科目）

ヨーロッパ言語文化

科目番号	授業科目	単位	週時間	年次	学期	授業内容
国言501	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	0-2	3	前	各分野別に個別研究、討議、発表、論文の作成を行う。
国言502	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	0-2	3	後	各分野別に個別研究、討議、発表、論文の作成を行う。
国言503	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	0-2	4	前	各分野別に個別研究、討議、発表、論文の作成を行う。
国言504	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	0-2	4	後	各分野別に個別研究、討議、発表、論文の作成を行う。

卒業要件 国際言語文化プログラム（昼間主コース）

授業科目の区分		必修	選択	選択必修	
共通教育	教養領域	健康運動系科目	2	2	
		人文系科目	2		
		社会系科目	2		
		自然系科目	2		
	総合領域	総合			
		琉大特色科目・地域創生科目	4		
		キャリア関係科目			
	基幹領域	情報関係科目			
		第1外国語	8		
		第2外国語	8		
小計		28	2		
共通教育科目総計		30			
専門教育	学部共通基盤専門科目	専門基盤力科目	2	12	
		地域・国際基盤力科目（プログラム系科目）		6	
		地域・国際基盤力科目（プログラム複合科目）			4
	プログラム専門科目	国際言語文化プログラム専門科目	2	30	
		地域・国際実践力科目	8	4	
	地域・国際実践力科目（読替科目）			26	
	小計		12	78	4
専門教育科目総計		94			
総単位数		124			

1. 卒業単位は合計124単位以上とする。

2. 共通教育科目は30単位とする。

教養領域	健康運動系科目	2単位以上
	人文系科目	2単位以上
	社会系科目	2単位以上
	自然系科目	2単位以上

総合領域	琉大特色・地域創生及びキャリア関係科目	4単位以上
------	---------------------	-------

健康運動系科目を除く教養領域・総合領域及び情報関係科目	2単位以上
-----------------------------	-------

基幹領域	第1外国語	8単位以上
------	-------	-------

※第一外国語が英語の場合、「大学英語」「英語講読演習中級」を含むこと。

※第一外国語でドイツ語、フランス語、スペイン語を選択した場合、それぞれ「インテンシブドイツ語I・II」、「インテンシブフランス語I・II」あるいは「インテンシブスペイン語I・II」のいずれかを8単位履修すること。

第2外国語	8単位以上
-------	-------

※第一外国語が英語の場合、第二外国語はインテンシブドイツ語I・II、インテンシブフランス語I・II、インテンシブスペイン語I・II、中国語基礎I・IIのうちから1つの言語を選択する。

※第一外国語が英語以外の言語で、第二言語で英語を選択する場合、「大学英語」「英語講読演習中級」を含み8単位、あるいは第一外国語で選択した言語以外の同一言語から8単位履修する。

※外国人留学生の場合、第一外国語は日本語とし、日本語上級レベルのクラスを合計8単位履修すること。

第二外国語に関しては、英語の場合は「大学英語」を含み8単位。その他の場合は「ドイツ語入門I、II、III、IV」、「フランス語入門I、II、III、IV」、「スペイン語入門I、II、III、IV」、「中国語基礎I、II」、「朝鮮語基礎I、II」のうちから一つの言語を選択して8単位履修すること。

注1) 共通教育等の履修要件の詳細については「琉球大学共通教育等履修規程」及び同規程別表3「各学部学科等別共通教育等履修基準表」を参照すること。

3. 専門科目は94単位以上とする。

(1) 学部共通基盤専門科目は以下のとおり合計24単位以上を履修する。

○専門基盤力科目は、基礎演習(2単位・必修)を含む14単位以上を履修する。

・学部共通基盤専門科目(専門基盤力科目)のうち、国際言語文化プログラム提供の英米文化入門、英米文学概論、ヨーロッパ文化論、言語科学入門の中から3科目および、他の2つ以上のプログラム提供の科目をそれぞれ1科目以上履修すること。

○地域・国際基盤力科目は、10単位以上履修する。

・プログラム系科目を6単位以上を履修する。

・プログラム複合科目(選択必修)を4単位以上を履修する。

(2) プログラム専門科目は以下のとおり合計70単位以上を履修する。

○国際言語文化プログラム専門科目は、卒業研究(2単位・必修)を含む32単位以上を履修する。

○地域・国際実践力科目は、地域・国際実践力演習Ⅰ～Ⅳ(必修・8単位)を含む12単位以上を履修する。

○他プログラム・他学部提供の専門科目・教職科目は、プログラム専門科目(地域・国際実践力科目)の単位として読み替えることができる。

○学部共通基盤専門科目(24単位)及びプログラム専門科目(32単位)を超過した分は、プログラム専門科目(地域・国際実践力科目)の単位として読み替えることができる。

(3) 一学期に登録できる単位数の上限は20単位(共通教育科目を含め)とする。ただし、集中講義はこの中に含まない。

(4) 直前に在学した学期の5段階評価によるGPAが3.0以上の者は、指導教員の指導・承認を得て26単位までの登録を認める。

(5) GPAの値にかかわらず、教員免許・博物館学芸員等の資格取得予定者は、指導教員の指導・承認を得て登録単位の上積みをも6単位まで認める。ただし、超過する分は資格取得に必要な該当科目とする。

(6) 資格取得希望者に該当する者のGPAが3.0以上の場合でも26単位までとする。

注2) 昼間主コースの学生は、夜間に開講される授業科目から履修することができ、そのうち40単位までは卒業単位として認められる。

学部共通基盤専門科目（夜間主コース）

専門基盤力科目

科目番号	授業科目	提供先プログラム	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容
B学共100	基礎演習		2	(2-0)	1	前	初年次教育をベースに、大学での学び方、レポートや論文の書き方、情報の検索と活用法、キャリア教育の最初の一步、等について学ぶ。
B学共102	経営学入門	経営	2	(2-0)	1	前	経営学の基本的なフレームワークについて理論的・実践的に学習する。
B学共105	経済学概論	経済	2	(2-0)	1	前	市場機構の働きや一国の経済活動についての基礎的な内容について、ケース・スタディなどを通して、講義する。
B学共108	社会科学のための統計入門	経済	2	(2-0)	1	前	社会科学研究を行う上で習得すべき基礎的なデータ処理と統計学の基礎を講義する。
B学共256	メディアの英語	国言	2	(2-0)	1	前	各種メディアをとおして生きた英語を学び、総合的英語力の向上を目指す。
B学共112	マーケティング入門	経営	2	(2-0)	1	後	企業が自社の業績を上げるために展開する活動について、事例を交えてわかりやすく解説する。
B学共122	日本経済入門	経済	2	(2-0)	1	後	現代の日本が直面している様々な経済問題について、初歩的な経済理論を用いて解説する。
B学共118	実用英語演習Ⅰ	国言	2	(2-0)	1	後	社会におけるさまざまな場面において英語で情報を発信できる総合的英語力を養成する。
B学共124	自然地理学概論	地域	2	(2-0)	2	前又は後	地球表面の自然地理学的事象について概観する。
B学共211	日本史概論	地域	2	(2-0)	2	前又は後	日本の古代から近現代までの歴史について概観する。
B学共212	世界史概論(東洋史)	地域	2	(2-0)	2	前又は後	東洋の古代から近現代までの歴史について概観する。
B学共213	世界史概論(西洋史)	地域	2	(2-0)	2	前又は後	西洋の古代から近現代までの歴史について概観する。
B学共214	社会人類学Ⅰ	地域	2	(2-0)	2	前又は後	社会人類学の体系的な概要について学ぶ。
B学共215	考古学Ⅰ	地域	2	(2-0)	2	前又は後	考古学の体系的な概要について学ぶ。
B学共216	民俗学Ⅰ	地域	2	(2-0)	2	前又は後	民俗学の体系的な概要について学ぶ。
B学共220	経済地理学	地域	2	(2-0)	2	前又は後	立地論などをテーマとした地理学について学ぶ。

プログラム専門科目（夜間主コース）
 国際言語文化プログラム専門科目（基礎科目）
 英語文化

科目番号	授業科目	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容
B英言111	リーディングⅠ	2	0-2	2	前	様々な分野の比較的長い英語の論考、エッセイを、速読して大意を理解する訓練をする。
B英言119	実用英語演習Ⅰ	2	0-2	1~4	前又は後	社会におけるさまざまな場面において英語と日本語で双方向的に情報を発信できる総合的英語力を養成する。
B英言121	英文法演習	2	2-2	1	後	英文法と英作文を相互補完的に学習する。
B英言141	英米文学概論	2	2-0	1	前	イギリス・アメリカ文学の基礎知識を作品を通じて通覧し、英米文化に対する理解を深める。
B英言171	言語コミュニケーション概論Ⅰ	2	2-0	2	前又は後	英語学/言語学の基礎を中心に学ぶ。
B英言201	異文化理解	2	2-0	1	後	多様な文化背景を持つ英文の講読や、英語によるコミュニケーション活動を通じて異文化についての理解を深める。
B英言221	ライティングⅠ	2	0-2	1	前	グローバル及びローカルな問題を扱ったエッセイの書き方を訓練する。
B英言222	ライティングⅡ	2	0-2	3	後	「ライティングⅠ」の続き。
B英言231	オーラルコミュニケーションⅠ	2	0-2	1	前	日常的な場面において、英語によるコミュニケーション活動が適切に行えるよう訓練する。
B英言232	オーラルコミュニケーションⅡ	2	0-2	2	後	「オーラルコミュニケーションⅠ」の続き。
B英言241	イギリス文学概論	2	2-0	2	後	イギリスの代表的作家の主要作品の鑑賞を通してイギリス文学を歴史的に概観する。
B英言242	アメリカ文学概論	2	2-0	2	前	アメリカの代表的作家の主要作品の鑑賞を通してアメリカ文学を歴史的に概観する。
B英言271	言語コミュニケーション概論Ⅱ	2	2-0	2	後	英語を中心とした言語習得に関わる様々な理論を概観しながら、母語習得や第二言語習得（外国語教育）についての基礎的知識を学ぶ。
B英言272	言語コミュニケーション概論Ⅲ	2	2-0	2	後	英語を中心とした（異文化）コミュニケーション学/社会言語学の基礎を中心に学ぶ。
B英言311	上級英語演習	2	2-0	3	前又は後	グローバルおよびローカルな問題に関する英文を精読し、自分の意見を論理的な英文で書く訓練をする。
B英言312	アカデミックプレゼンテーションⅠ	2	0-2	2	後	様々な学問分野において、英語による効果的なプレゼンテーションの方法の基礎を学ぶ。
B英言313	アカデミックプレゼンテーションⅡ	2	0-2	3	後	様々な学問分野において、英語による効果的なプレゼンテーションの方法の応用を学ぶ。

プログラム専門科目（夜間主コース）
 国際言語文化プログラム専門科目（応用科目）
 英語文化

科目番号	授業科目	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容
B英言101	学外実地研修	2	0-2	3~4	前又は後	合宿研修を通して、英語のコミュニケーション能力を身につける。
B英言112	リーディングⅡ	2	0-2	3	前	本講義は、論説文、文芸という種類の異なる英文のテキストを読み、それぞれの主題を核とした批判的思考の実践を身につける。
B英言115	英語資格試験演習	2	0-2	3	前又は後	客観的な英語能力の指標となるTOEFLおよびTOEICの試験内容について、学習方略を含めた問題演習を行う。
B英言333	英米言語文化特殊講義Ⅰ	2	2-0	3~4	前又は後	英文法を普遍文法の観点から考察し人間言語の仕組みについて理解を深める。
B英言334	英米言語文化特殊講義Ⅱ	2	2-0	3~4	前又は後	英語の母語習得理論及び外国語習得理論の理解を基に、日本人学習者が英語を学習するときに抱える困難と、その解決方法について学ぶ。
B英言335	英米言語文化特殊講義Ⅲ	2	2-0	3~4	前又は後	英米の言語、文化、歴史を主とした文化全体の様々な側面に関する主題に関するプレゼンテーションとディスカッションを実施し、仕上げとして取り上げられた主題についてのterm paperを作成する。
B英言336	英米言語文化特殊講義Ⅳ	2	2-0	3~4	前又は後	19世紀前半までのアメリカ合衆国草創期の文学作品を読むことをとおして、その後形成されていくアメリカ的価値観の展開を学ぶ。
B英言441	イギリス文学研究Ⅰ	2	2-0	3	前又は後	イギリス文学における主要なテーマについて研究する。
B英言442	イギリス文学研究Ⅱ	2	2-0	3	前又は後	イギリス文学における特定の課題について研究する。
B英言443	イギリス文化論	2	2-0	3~4	前又は後	イギリスの文学、思想、言語など、イギリス文化の諸相を研究する。
B英言350	アメリカ文学研究Ⅰ	2	2-0	3~4	前又は後	アメリカ文学における主要作品を取り上げ、その研究方法の基礎を学ぶ。
B英言351	アメリカ文学研究Ⅱ	2	2-0	3~4	前又は後	アメリカ文学における主要作品を取り上げ、その研究方法の実践を学ぶ。
B英言352	アメリカ文学研究Ⅲ	2	2-0	3~4	前又は後	アメリカ文学における主要作品を取り上げ、その研究方法の応用を学ぶ。

B英言358	アメリカ研究概説	2	2-0	2~4	前又は後	人種、エスニシティ、ジェンダー、階級など、アメリカの文化や社会のありようを特徴づけるテーマを通して、アメリカ研究の基礎的な知識を学ぶ。
B英言359	アメリカ研究演習	2	2-0	3~4	前又は後	アメリカ研究に関するさまざまなテキストや理論の精読など、ゼミ形式の実践的な学習を通してアメリカ研究の基礎的な研究方法を学ぶ。
B英言377	英語の音声構造	2	2-0	3~4	前又は後	英語の音声と音韻構造を理論的・体系的に研究する。
B英言379	英語の文構造	2	2-0	3~4	前又は後	英語の文や句の構造を理論的・体系的に研究する。
B英言386	英語コミュニケーションの多様性	2	2-0	3~4	前又は後	国際語としての英語について、音声・文法・語彙などの多様性を概観し、「世界諸英語(World Englishes)」の状況やその文化的背景について学ぶ。
B英言395	英語学習論I	2	2-0	3~4	前又は後	外国語としての英語学習を心理学的手法を用いて概観し、その研究方法と理論を学ぶ。
B英言396	英語学習論II	2	2-0	3~4	前又は後	外国語としての英語学習を社会文化理論を用いて精査し、その研究について学ぶ。
B英言410	異文化実地研修A	2	0-2	3~4	前又は後	英語圏諸国の大学等において行われるサマースクールや短期セミナー等に参加し、その国の言語・歴史・文化等に関する科目を履修するとともに、異文化理解を深める。
B英言420	異文化実地研修B	2	0-2	3~4	前又は後	海外協定校での集中講義やゼミへの参加、エクスカーションや各国の学生との交流を通して、コミュニケーション能力の向上と異文化理解の深化を図る。
B英言473	英語圏の言語政策と言語権	2	2-0	3~4	前又は後	英語が公用語または実質的な公用語として機能している国・地域における多言語社会の機能を学び、少数言語話者の言語権を保障した言語政策・言語計画を考察する。
B英言500	卒業研究	2	0-2	4	前又は後	4年間の学習の集大成として研究論文執筆や発表をおこなう。

プログラム専門科目（夜間主コース）

国際言語プログラム専門科目（地域・国際実践力科目）

英語文化

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考	授業内容
B国言501	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	0-2	3	前	各分野別に個別研究、討議、発表、論文の作成を行う。
B国言502	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	0-2	3	後	各分野別に個別研究、討議、発表、論文の作成を行う。
B国言503	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	0-2	4	前	各分野別に個別研究、討議、発表、論文の作成を行う。
B国言504	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	0-2	4	後	各分野別に個別研究、討議、発表、論文の作成を行う。

卒業要件 国際言語文化プログラム（夜間主コース）

授業科目の区分		必修	選択	
共通教育	教養領域	健康運動系科目	2	10
		人文系科目	4	
		社会系科目	4	
		自然系科目	4	
	総合領域	総合		
		琉大特色科目・地域創生科目		
		キャリア関係科目		
	基幹領域	情報関係科目		
		第1外国語（英語）	8	
		第2外国語	8	
小計		30	10	
共通教育科目総計		40		
専門教育	学部共通基盤専門科目	専門基盤力科目	6	2
	プログラム専門科目	国際言語文化プログラム専門科目（基礎科目）	34	
		国際言語文化プログラム専門科目（応用科目）	6	4
		地域・国際実践力科目	8	
	地域・国際実践力科目（読替科目）			24
	小計		54	30
専門教育科目総計		84		
総単位数		124		

- 卒業単位は合計124単位以上とする。
- 共通教育科目は40単位とする。

教養領域	健康運動系科目	2単位以上
	人文系科目	4単位以上
	社会系科目	4単位以上
	自然系科目	4単位以上
健康運動系科目を除く教養領域・総合領域及び情報関係科目		10単位以上
基幹領域	第1外国語（英語）	8単位以上
	第2外国語	8単位以上

- 第一外国語は英語とし、「大学英語」、「英語講読演習中級」、及び選択科目から1科目の8単位を履修すること。
- 第二外国語に関しては、「ドイツ語入門I、II、III、IV」、「インテンシブフランス語I・II」、「スペイン語入門I、II、III、IV」、「中国語基礎I、II」のうちから一つの言語を選択して8単位以上履修すること。

注1) 共通教育等の履修要件の詳細については「琉球大学共通教育等履修規程」及び同規程別表3「各学部学科等別共通教育等履修基準表」を参照すること。

- 専門科目は84単位以上とする。
 - 学部共通基盤専門科目は、基礎演習（2単位・必修）を含む8単位以上を履修する。
 - 学部共通基盤専門科目のうち、国際言語文化プログラム提供のメディアの英語、実用英語演習Iを履修すること。
 - プログラム専門科目は以下のとおり合計76単位以上を履修する。
 - 国際言語文化プログラム専門科目（基礎科目）は、34単位を必ず履修する。
 - 国際言語文化プログラム専門科目（応用科目）は、リーディングII（2単位）、英語資格試験演習（2単位）、卒業研究（2単位）を含む10単位以上を履修する。
 - 地域・国際実践力科目は、地域・国際実践力演習I～IV（必修・8単位）を必ず履修する。
 - 他プログラム・他学部提供の専門科目・教職科目は、プログラム専門科目（地域・国際実践力科目）の単位として読み替えることができる。
 - 学部共通基盤専門科目（8単位）及びプログラム専門科目（44単位）を超過した分は、プログラム専門科目（地域・国際実践力科目）の単位として読み替えることができる。
 - 一学期に登録できる単位数の上限は20単位（共通教育科目を含め）とする。ただし、集中講義はこの中に含めない。
 - 直前に在学した学期の5段階評価によるGPAが3.0以上の者は、指導教員の指導・承認を得て26単位までの登録を認める。
 - GPAの値にかかわらず、教員免許・博物館学芸員等の資格取得予定者は、指導教員の指導・承認を得て登録単位の上限を6単位まで認める。ただし、超過する分は資格取得に必要な該当科目とする。
 - 資格取得希望者に該当する者のGPAが3.0以上の場合でも26単位までとする。

注2) 夜間主コースの学生は、昼間に開講される授業科目から履修することができ、そのうち40単位（教員免許関係の科目を除く）までは卒業単位として認められる。